

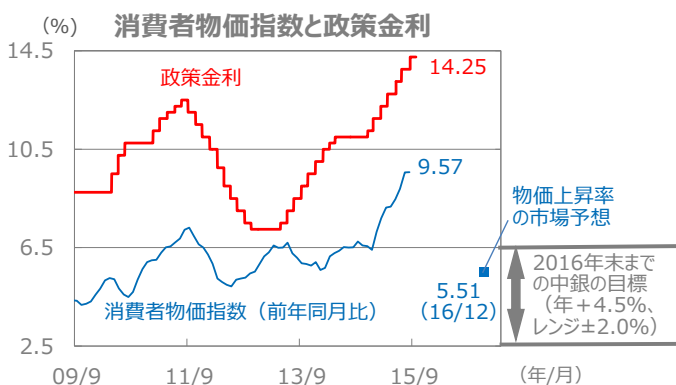
今日のトピック

ブラジル中銀、利上げを停止

ポイント1 8会合ぶりの金利据え置き 全会一致、市場予想通りの決定

■ブラジル中央銀行（以下、中銀）は2日、市場の大方の予想通り政策金利を14.25%に据え置くことを発表しました。

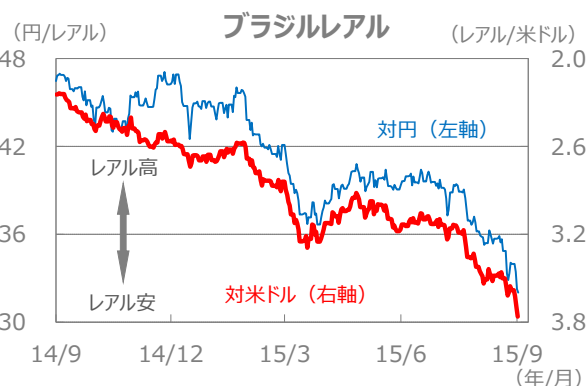
■中銀は、昨年10月から今年7月の前回会合まで連続で合計3.25%、2013年4月からでは合計7.00%利上げしていました。政策金利据え置きは昨年9月以来8会合ぶり、全会一致での決定です。



ポイント2 当面現状維持の見込み 利上げ効果を見極め

■声明文では、前回と同様に「物価を中銀の目標に近づけるため、現行の金利水準を十分に長い期間維持することが必要」と明言されました。

■消費者物価指数の上昇率は、公共料金の大幅な引き上げや食品の値上がりなどの影響から、前年同月比+10%近い伸びとなっています。ただし、財の価格は比較的落ち着いています。景気の低迷が続いていることから、中銀は政策金利を当面据え置き、高めの政策金利による物価抑制効果を見極める姿勢と思われます。



(注1) 政策金利は2009年9月1日～2015年9月2日。消費者物価指数は2009年9月～2015年8月（2015年8月は月前半）。ブラジルレアルは2014年9月1日～2015年9月2日。
(注2) 消費者物価指数の市場予想は、ブラジル中央銀行が8月31日に発表した調査結果。
(出所) Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 市場の物価見通し改善に注目

■景気低迷による歳入不足などから政府は財政緊縮を進めざるを得ない状況です。ルセフ政権は汚職問題もあり、支持率が1桁台に低下するなど人気が低迷しています。物価高の是正は、国民の不満解消や消費の持ち直しにつながると期待され、物価の落ち着きが待たれる局面です。

■中銀は物価上昇率などの市場予想を毎週調査しています。足元では、中国の景気不安などからブラジルレアル安が進んでおり、物価予想はやや上振れています。中銀の政策効果を見極める上では、2016年末の市場予想（5.51%）が目標（4.50%）に近づくかが当面の注目点です。

ここもチェック! 2015年 8月28日 最近の指標から見るブラジル経済（2015年8月）
2015年 8月26日 ルセフ政権の「財政再建」に逆風（ブラジル）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。